# 市民ワークショップ結果報告



## 福祉部会

## 第2回ワークショップまとめ

福祉部会 テーマ:高齢者福祉・介護保険制度について

(仮称)第5次甲府市総合計画第2回市民ワークショップ 平成17年4月24日(日)午前10:00~/遊亀公民館

まとめ

高齢者の目線でわかりやすく、生きがいをもって暮らせる福祉の総合化と地域に根ざしたネットワークづくり

## ネットワークづくり

具体化

## 福祉の総合化 (具体的な提言)

- ・小学校統合の空き地には相談センター や社会福祉協議会、防災の機能も入れ て一体となった支援ができるように。
- ・甲府市では今、小学校の統合で空き地ができる。そこに、全ての人が相談できる相談センターを作って、支援サービスを受けられる一体的なものを作ってほしい。
- 高齢者が多く、降雪時に道路の除雪が 困る。

## ネットワークづくり (地域で暮らしたい)

- ・高齢者福祉・障害者福祉と分けないで 困ったとき誰もが相談できるシステム が欲しい。
- ・老人が地域で生きられるシステム作り。一般市民の認識をどのようにすればできるか。
- ・誰もが高齢者になるが、地域の人とど うすれば一体となって考えていけるか。
- ・在宅の一人暮らしの高齢者をフォローできるシステム作り

## 生きがいづくり

## 高齢者の生きがいづくり

- 生きがいのため、働ける場所が欲しい。
- ・企業の定年を高齢にして欲しい。
- もっと高齢者が働ける場所づくりをしてほしい。

## 高齢者のいこいの場づくり

- 一人暮らしの方への声かけなど。
- ・高齢者のスポーツ施設が欲しい。
- ・高齢者が話し合える場所

## 今後の介護保険のあり方

## 今後の介護保険のあり方

- 介護保険はどう変わるのか。
- 介護保険制度の見直しがあるようだけれど、どのようになるのか。
- 介護保険と支援費統合には無理がある。
- ・保険料は払っても負担金が払えなくて 使えない。
- 福祉タクシーを安く利用できるように してほしい。
- 介護保険は家族介助が前提になっている。

## 老人ホームの充実

- ・老人ホームが近くにほしい。
- ・特別養護老人ホームに入所について (希望に応じて対応)
- ・直営に近い老人ホーム・グループホームが欲しい。

## 学ぶことが大切

- ・高齢者が知ろうとはしない
- ・知らせる方法 (防災無線が聞き取れ) がない
- ・自分も高齢者だがどんな福祉があるか 気にもしていなかった。今は自力で生 きていけるからか元気な時からこんな 支援があるという事は知らなくてはと 思う。

## 高齢者福祉の課題

- ・プライバシーとの係わり (個人のプライバシーを尊重しながら どのように高齢者を支援していくのか)
- ・子どもたちは大人になると甲府の外に出てしまう。中心地が高齢化している。若い人が住めるように。

## ボランティアのあり方-

ボランティアはどこまでやるのか。行 政は?事業者は?分かりづらい。

## 高齢者の食事

- 配食ボランティアについてのあり方
- ・配食サービスの食事が作れない者の把握は?(申告基準)
- ・一人暮らしの高齢者への配食サービス の充実
- ・空き教室を利用して社協ボランティアが食事サービスをできないか。
- 配食サービスが高額ではないか。

福祉部会テーマ:障害者福祉について

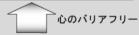
(仮称)第5次甲府市総合計画第3回市民ワークショップ 平成17年5月28日(土)午前10:00~/県民情報プラザ

## まとめ

|障害者が地域社会の中で役割を担い自立して暮らすことのできる福祉の総合化と地域に根ざしたネットワーク

## 社会の啓発

- **障害者は永遠に生まれてくるしどこの家に** 生まれるか分からない。どの家庭に生まれ ても困らない社会の認識と組織が必要。
- 精神障害福祉の場合、プライバシーの問題



## バリアフリー

・道路などのバリアフリー

## 精神障害対応

・精神障害対応を拡大して欲しい。

## 福祉の総合化とシステムづくり

#### 福祉の総合化

- 高齢者福祉でもあげたように、小学校統合跡 地に総合的相談システムと生活支援システム を一体としたもの、災害弱者の防災のシステ ムも入れて、福祉を総合的に扱う。
- 障害者対策はめまぐるしく変わる。一般市民・ 障害者も含めて理解は大変だ。市障害福祉課 だけの対応は不十分、3障害合わせた障害者 センターを作るべきだ。
- ・障害のある人達の地域生活を支援するには「相 談」と「生活支援サービス」を一体的に提供 することが必要だ。
- ライフステージに応じたサービスを提供する には1ヶ所でサービスを全て組み立てられる ところが必要
- 障害者相談支援事業所、総合相談窓口サービ ス事業、障害者ケアマネジメント事業などの 一体化は必要なのか。

- 「健やかいきいき甲府プラン」には「地域生 活支援センターなどの障害者の生活支援を行 う機関」とあげてあるが、地域生活支援セン ターがないのではないか。
- ・地域生活支援センターは、一法人施設に属さ ない公的な機関として活動した方がよい。法 人に所属すると法人の収入にとらわれやすい。

#### 相談システム

- 相談と支援が直結するシステム
- 甲府には事業者は多いがサービスが支援とし てつながっていない。
- 相談から直接支援までの流れが必要。本人の プランにそった動きが大切

## 新たな制度について

- 自立支援法は5年かけて新体系へとのこと。 相談システムがしっかりしていないと取り 残される人も多くなるのでは?
- 自立支援法の施行により、基本的な福祉を 支える議論はどこへいったのか?
- ・自立支援法は障害者の声を聞いて考えられ ているのか。
- 自立できる人はいいが、それ以外のひとは ぎりぎりの生活になる。
- 利用者負担は誰が決めるのか。
- ・新プランで審査判定が公平になされるか。
- ・障害者自立支援法案の内容について(判定
- 判定が出来るのか。一次判定、二次判定、 審査判定、どんな立場の人がするのか。
- 新サービスは、障害者の支援より障害者の ランク付けの強調になるのではないか。
- ·身体障害者福祉、知的障害者福祉、精神保 健福祉、と言ってもよくわからない。

市が防波堤に…

## 白立支援・社会参加・

- ・障害者の余暇支援全般に対するサポート
- ・障害者の社会参加の促進が不足している。余 暇活動として参加できるスポーツレクリエー ション、芸術、ボランティア活動等、気軽に 参加できる環境が必要。
- ・障害児の学童期支援(長期休暇や土日放課後) 支援) を甲府市レベルで制度に位置づけして ほしい。
- ・障害者が就労できる場が甲府市内にほどんど ない。例えば特例小会社があればいいが。
- ・授産所について
- ・障害者支援は住み慣れた地域で安心してくら せるように、日中生活、夜の生活、余暇利用、 困ったときの支援体制が必要だ。いろいろ整 うといいが、夜の生活も困らないように。

地域の連携体制の強化によって 地域の暮らしが成り立つ

## 地域のマンパワー

- 民生委員や障害者相談員などの地域のマンパ ワーが、積極的に障害者支援に対応できるよ うに体制を整備してほしい。
- ・一人暮らしの知的障害者の社会的生活を支え る人 (民生委員) または機関は?

#### 社協の取り組み強化

- 平成16年3月に作られた甲府市社協による 「甲府市福祉活動計画」の中は老人問題 がほとんど。障害者福祉対策についても っと力を入れるべきだ。
- 社協の職員が1、2年で担当が変っていく。 もう少し長い期間障害者問題に取り組ん でほしい。

#### 市が中心となって

障害児・者支援の仕組みの下地づくりは 市町村になった。

## 第4回ワークショップまとめ

福祉部会 テーマ:児童福祉・母子父子福祉について

(仮称)第5次甲府市総合計画第4回市民ワークショップ 平成17年7月23日(土)午前10:00~/県民情報プラザ

## まとめ

"心の教育" "地域・家庭の再生"を原点に、親も子も楽しく育つまちづくり

## 子育て支援

## 保育園のサービス

延長保育について

## 子育で支援は充実している。 地域

- ・甲府市は全国48市町村とともに国の「子 育て支援総合推進モデル市町村」の指定 を受けているとはすごいと思った
- 仕事を持っている母親、専業主婦それぞ れの支援がある。親はこのシステムを大 いに利用して欲しい



## 障害者福祉にも

- ・障害児の親は学童保育のシステムをとて も望んでいる。行政は障害児にも目を向 けるべきだ
- いいシステムがあってもこれまでは健常 児の利用のみ。障害児も利用したくなる 雰囲気作りが必要

## 『母子・父子福祉の課題

#### 【すまい】

- 増加する母子家庭への就労支援と住居の
- 母子優先とはいってもDVなどの方が先 になっている

#### 【父子の支援】

・父子家庭にも母子家庭と同じく経済援助 は必要

## 男女共同参画の視点

・男女が共に参加するような意識づくり(家 事や育児)

## 福祉の総合化(地域で育てる)

## 地域の再生

- 地域の再生が重要
- 福祉を考えると全て地域再生にいきつく
- 近隣の関係の希薄化をなくす取り組み
- 育児の孤立化をなくすため地域が出来ることをはっきりさせる →ポリシー・誇り
- ・日常、子どもだけの生活しか出来なかった時の面倒は?

## 地域で育てる

地域で育てる

1000

- ・子どもたちが地域に戻っても充分な関係がないと孤立化する
- ・ (母子・父子・ひきこもり・ニート・未婚・離婚等) 当事者のリー ダー、地域での相手の育成が必要

## 地域からのサービス

- ・三世代交流-地域でできることとはそういうこど
- 子育てお助け隊は派遣対象サークル・グループというのを見直して
- ・利用しやすいサークル→ちょっと話ができるような気軽なもの ボランティアでやることも大変

## 心の教育(家庭・学校・社会)

- ・システムや行政としてのセーフティネットづくりだけでは次世代づ くりにならないのでは?
- 「家庭」という子育ての原点の崩壊。次世代の親となる子供の教育 とは?
- 子どもを楽しみながら育てられる社会は、システムが整ってもはた してどうか?
- ・少子化でありながら育児保健における母子人間関係の希薄化は問題

## 幼保一元化に向けて -長期的に-

- ・保育所(児童福祉)、幼稚園(教育)という行政の二元化施策を一 元化(有効な)できないのか?
- 子どもはみんな同じなのでは

## CPR 知ることが大切

- 支援のシステムが豊かだ。これを市民に 知らせる事が大切だ
- ・充実していても利用する側が積極的では
- PR不足←→知る努力をしない住民
- つどいの広場的な情報提供は各保育所に されているか?

## 子どもが外で遊べる 背景づくり

- ・152箇所ちびっこ広場 遊べる状態にな いところもある
- チビッコ広場は利用されているのかいな。
- 子どもが自由に遊べる場所をつくっても 外で遊ばない
- →必要性は?

(000

→利用しない背景には何があるのか

## 子どもの安全な 居場所づくり

- 放課後児童クラブ待機児童の解消は共働 き世帯増加の現在必要
- 障害児の学童保育の充実
- 防犯の視点での安全確保

## 児童虐待への対応

-地域でできることとは-

- ・子どもの虐待がなくなる世の中になるよ う、地域住民で協力できるシステムづく
- プライバシー、しつけの問題
- 児童虐待の状況は?
- →現状としては多くはない